

学力調査結果分析 < 2年 > ～都学力調査から～

○各教科の課題を問題と正答率から分析します。

<国語> 大問8(2) 正答率：都平均 40.7、校内平均 37.4

・問題：次の(1)と(2)について、主語(主部)と述語(述部)が適切に対応するように、()の部分を書きかえなさい。

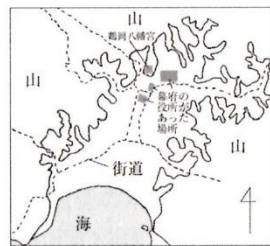
(2) わたしたちが合唱コンクールで優勝できたのは、みんなの心が一つに(なる)。

・分析：全都的にも文章を書く際に、主語と述語が正対していない(主述のねじれた)文を書く生徒が少なくない。自分の書いた文章について推敲したり見直したりする場面で、主述が整合しているか確認させるとともに、話し言葉と書き言葉の違いを意識させ、使い分けを明確にさせる指導の継続が必要。

<社会> 大問6(2) 正答率：都平均 29.4、校内平均 24.1

・問題：源頼朝が鎌倉に幕府を開いた理由として適切なものを2つ選びなさい。

・分析：「鎌倉」と「京都」との位置関係を正しく捉えられていないと考えられる。歴史の舞台という視点から地理的条件に着目させる指導が必要。



この場所は、南側が広い海に面しています。この鎌倉を拠点とし、全国を結ぶ海上交通が発達していました。また、鎌倉と全国を結ぶ街道が整備されていて、御家人は、鎌倉で何かあったらすぐにかけつけることができたからだと思います。



都では天皇と院や、藤原氏などの貴族による権力争いがおこっていたため、都から離れた場所がよかったのではないのでしょうか。京都と鎌倉は、交通の便もよく、いつでも行き来することができたので、鎌倉に幕府をかまえたのだと思います。



この場所は、東・西・北側が山に囲まれています。山をけずって切り開いたせまい道をつくり、この道をふさぐことで中に入れないようにしました。南側は海に面しています。鎌倉は、敵の攻撃から幕府を守るのに都合がよい土地だったのだと思います。



源頼朝が、武士による新しい政治のしくみをつくっていくには、新しい環境が必要だったのでしょうか。京都からはなれていて、先祖が建てた箱根入幕府があり、源氏ゆかりの地である鎌倉がよかったのだと思います。

<数学> 大問8(3) 正答率：都平均 10.9、校内平均 11.8

・問題：図2の立体の表面積は何 cm² ですか。

・分析：円錐台の展開図から、表面積を求めることができるかを見る問題である。全都的にも無回答が 33.3%で、図3の [] で示した部分の面積の求め方が理解できていないと考えられる。

図1

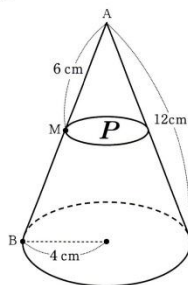


図2

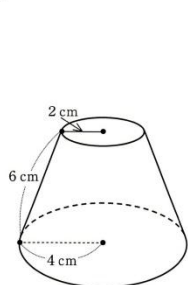
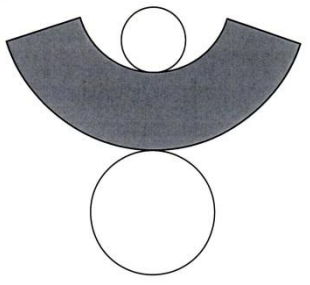


図3

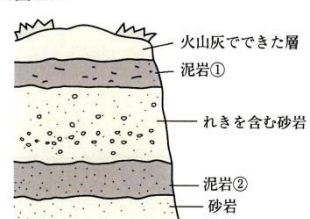


<理科> 大問5(3) 正答率：都平均 27.6、校内平均 28.2

・問題：<図2>の地層のでき方の説明として最も適切なものを次のア～エの中から1つ選びなさい。*選択肢は省略します。

・分析：地層の観察・実験結果をもとに地層のでき方を考えられるかを見る問題。火山灰は海岸や湖岸からの距離に関係なく堆積すると考えたり、粒が小さいほど海岸や湖岸から近い位置に堆積すると誤ってとらえている生徒が多いと考えられる。

<図2>



<英語> 大問6(2) 正答率(2文とも正答)：都平均 24.9、校内平均 27.8

・問題：下の(1)と(2)のそれぞれに質問について、正しい英文で答えなさい。答えは2文書くこととし、1文目は Yes, ~. か No, ~. で、2文目は1文目に続く内容を書きなさい。ピリオドまで1文とします。

(2) Did you study English yesterday?

・分析：相手の質問に対して正しい文法を使って書くことができるかを見る問題。全都的に誤答例として、Yes/No の後に正しい形で書けない、math と書こうとして muth や moth など綴りを間違えたなどによるものと考えられる。質問に答えたりした直後に、その内容を書く活動に取り組む必要がある。

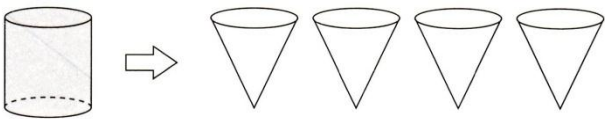
学力調査結果分析＜3年＞ ～全国（国・数）、区（社・理・英）から～

○各教科の課題を問題と正答率から分析します。

＜国語＞ A問題 大問8四 正答率：全国平均 59.9、都平均 63.3、校内平均 62.9

- ・問題：林さんは【読んでいた本の一部】の一線部「英気を養う」の意味が分からなかったので、国語辞典で調べました。後の【国語辞典】に載っている「英気」と「養う」を説明している部分をそれぞれ使って「英気を養う」の意味を書きなさい。（以下、省略）
- ・分析：全国の誤答例（省略）をみると、「英気」「養う」を説明できてないか、「英気を養う」全体の意味を説明できていないか、どちらかの生徒が少なくない。全国的に辞書で書かれている記述から語句の意味を適切にとらえることが課題であるとの分析があり、辞書を活用した指導の継続が必要。

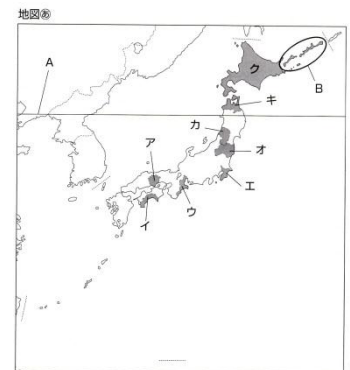
＜数学＞ A問題 大問5（4） 正答率：全国平均 38.7、都平均 41.2、校内平均 37.1

- ・問題：下の図は、円柱、円錐の形をした容器です。それぞれの容器の底面は合同な円で、高さは等しいことがわかっています。この円柱の容器いっぱいに入れた水を円錐の容器に移します。


このとき、下のア～オまでの中に、円柱の容器に入っていた水と同じ量の水を表している図があります。正しいものを1つ選びなさい。（省略）
- ・分析：円錐の体積を、底面が合同で高さが等しい円柱の体積と関連付けて理解することに課題がある。模型を用いた実験などを通し、実感を伴って理解できるようにするなどの指導の継続が必要。

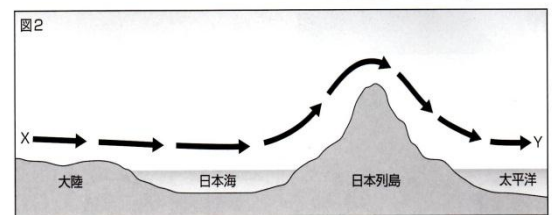
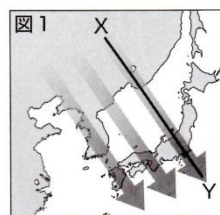
＜社会＞ 大問1（1） 正答率：全国平均 25.0、校内平均 38.9

- ・問題：地図あ中のAは、スペインやイタリアなどを通る緯線です。この緯線の緯度を次の1～4から1つ選びなさい。（省略）
- ・分析：全国平均から見るとかなり高い正答率だが、地理分野が1年次の学習内容であり、記憶から遠のいている生徒が少なからずいると考えられる。また、同緯度の違う地域の国や町といった関連付けが必要であるとも考えられる。



＜理科＞ 大問11（1） 正答率：全国平均 29.7、校内平均 37.0

- ・問題：図1や図2のように、大陸から太平洋に向かって季節風がふく理由を次の1～4から1つ選びなさい。
- ・分析：気圧の知識だけでなく、気圧と地理的要因とを関連付けてとらえていないことが誤答の要因と考えられる。実例を含めた指導の継続が必要。



＜英語＞ 大問10 正答率：以下の表を参照

- ・問題：外国人の先生に、春休みにしたことについて説明することになりました。あなたが春休みにしたことや、思い出に残っている出来事を1つ取り上げ、次の指示に従って、英語で書きなさい。
 - ・つながりのある3文以上の英語で書く
 - ・具体的な説明や印象に残った理由などがわかるように書く
 （以下省略）

	したこと	説明・理由	3文以上
全国	36.3	47.5	32.1
校内	54.9	63.9	50.0

- ・分析：書くことについては、全国的にも正答率が下がる傾向が指摘されている。特に、トピックに沿ってまとまった英文を書くという作業は苦手な生徒が多く見受けられる。様々なトピックについて、日常的に英文を書く指導が必要。